

Student Activities

活躍した学生たち



新大工町商店街と コラボレーション

経済学部

大学が地域と連携して新しい動きを起こすための「みらい創造セッション」に参加した経済学部生たちが、長崎市新大工町商店街でさまざまな活動を行っています。中でも2016年6月に新大工町市場にできた「学生市場」は、地元のマスコミにも大きく取り上げられ話題となりました。商店街を盛り上げようと試行錯誤して行く中で、学生たちは現場力を身に付け、また大学での学びを深めていくという好循環が生まれています。



「長崎市観光イメージ アップお土産コン テスト」最優秀賞受賞

経済学部

株式会社すみやと本学の経済学部の学生が協力して企画・開発した「NAG ASAKIでいっぶる長崎びわゆうこう」が、「長崎市観光イメージアップお土産コンテスト」世界遺産・食品部門にて最優秀賞を受賞しました。この商品は、丸山幸宏教授のゼミ生が協力し開発されたもので、長崎の名産であるびわ・ゆうこうのジャムとサブレッタになっており、長崎の特徴を詰め込んだ一品となっています。

長崎ユース代表団4期生



長崎ユース代表団

「ナガサキ・ユース代表団」は、「核兵器廃絶長崎連絡協議会」が主催する人材育成プロジェクトであり、2013年に第1期の活動が始まりました。長崎の若者が国際情勢を学ぶとともに、世界の人々と出会い、知識を行動に結びつける力を養うことを目指しており、これまで核軍縮・不拡散問題に関する国際会議への参加等の活動実績があります。2017年1月に決定した第5期生は、オーストリアのウィーンで5月にある核不拡散条約(NPT)再検討会議の第1回準備委員会の傍聴などを予定しています。

JAXA優秀賞を受賞!

長大口ロボットサークル

長崎大学ロボットサークルが2013年12月に開催された学生向け九州地区競技会、「フューチャードリーム!ロボメカ・デザインコンペ2013」に出場し、JAXA優秀賞を受賞しました。ロボットスーツと眼鏡型音声映像提示装置を組み合わせることで、宇宙飛行士が船内において、様々な地上でのスポーツ等を通じた筋力トレーニング、さらに船外活動の模擬訓練を実施可能とするシステムの提案を行い、高く評価されました。



東北ボランティア Sip-S

2011年3月11日、東北地方を震源に大地震が発生しました。そしてそれから6年経ちました。しかし、未だに震災で苦しんでいる方々は多くいらっしゃいます。そんな中、継続的に震災支援を行っている長崎 Sip-Sというサークルがあります。毎年、このサークルの主催で一般の学生と共に東北でボランティア活動を行っています。昨年は福島で放射線について学び、宮城では農家で手伝い、震災について深く考えることが出来ました。



第14回学生ものづくり・ アイデア展で最優秀賞、 特別賞を受賞

工学部

「学生ものづくり・アイデア展」とは長崎大学・富山大学・新潟大学の3大学の学生が課題探求や創作活動に主体的に取り組んだ成果をコンテスト形式で競い合うイベントです。2016年12月に富山大学で開催された第14回「学生ものづくり・アイデア展」、長大工学部から2チームが展覧され、「離島用超小型電動モビリティの開発チーム」が最優秀賞を、「地図アプリを活用した市民による緊急車両移動情報共有システムチーム」が特別賞を受賞しました。



※学年は、いずれも活動時のもの

全日本バレーボール 大学男子選手権 大会へ出場!

男子バレーボール部

2016年10月に開催された「九州大学秋季バレーボール男子リーグ」において、全学男子バレーボール部が1部で5位に入賞し、九州大学バレーボール連盟からの推薦を受け、「全日本バレーボール大学男子選手権大会」への切符を手に入れました。残念ながら全国では1回戦敗退となりましたが、大いに健闘しました。その他の体育系学生サークルの活躍も目覚ましく、2016年の夏以降では、3つのサークルが全国大会に出場し、水泳部(男子200mバタフライ決勝進出)、射撃部(50mライフル伏射60発女子個人1位)、空手道部(女子団体組手優勝)など素晴らしい実績を残しています。

ミスコン・ ミスターコン

毎年長大祭でミスコン・ミスターコンが行われますが、昨年は初めて他大学連携で行われました。参加大学はシーボルト大学、活水女子大学、外国語大学、長崎大学でした。コンテストはシチュエーションゲームや借り物などを通して、出場者だけでなくお客様との距離も縮まる楽しい企画です。



ミスコン・ミスターコン 2016

ながさき海援隊の取組

水産学部



NPO/モッチの方々の海浜清掃

斜面地・空き家を 活用したまちづくり

斜面地・空き家活用団体 つくる

「斜面地・空き家活用団体 つくる」は、長崎が抱える課題である斜面地の活用を試みるため、斜面地の空き家を拠点とし、火花鑑賞会や斜面地ピクニックなど長崎らしいイベントを発信しています。実際に移住した学生は、「実際に住むことで生活空間としての斜面地の魅力を再発見できそうです。」と話しており、活動の広がりが期待されます。



この界隈の野の花を摘んで飾ったイベントの様子

1.17追悼式in長崎

2017年1月17日、中部講堂前で阪神淡路大震災の追悼式が行われました。長崎大学の4名の学生が企画し、長崎ではなかなか開催されてこなかった阪神淡路大震災の追悼式を実現することが出来ました。当日は早朝にも関わらず、20名を超える人々が集まり遠く離れた神戸へ黙とうを捧げました。また、主催者らは普段から防災に対する意識を持つことを呼びかけていました。

